

人、店 出会い楽しむ

五所川原商工会議所青年部（東慎治会長）主催の街コン「五一Goーまっちこん3」が12日、五所川原市で開催された。新たな出

会いを求める男女約280人が参加し、市内飲食店街を回りながら、会話に花を咲かせる姿が見られた。（下山和枝）

五所川原商議所青年部 街コンに県内外280人



五所川原市の「恋人の聖地」で開催された街コン開会式

今年指定された飲食店3店を同性2人1組で回り、3組の異性と出会う「3まっち」と、1人で参加して1会場で立食形式で会話する「1まっち」を実施。市内外や県外からの参加もあった。

当日は、県内で初めて「恋人の聖地」に認定された市内の立佞武多広場で開会式が開かれた。三上裕行副市長は「ロマンスを育み、いい店に出会ってほしい」と開催を祝い、山崎淳一五所川原商工会議所会頭は「人生の不幸は人との出会い」とあいさつ。東会長は「思い切り楽しんでほしい」と参加者を激励し、カウントダウンとともに

「恋人の聖地」で開会式

「恋人の聖地」に設置されたモニタメントの鐘が鳴らされると、参加者が一斉に指定された店へと繰り出した。つがる市から参加した女性2人組は「参加した女性2人組は2回目。店を回るこけがなければ五所川原で飲む機会がないので楽しい」と笑顔。地元から参加した男性2人組は「地元で飲む機会は多いが、行つたことのない店もあるので面白い。すてきな出会いがあれば、なおいい」と期待を寄せた。

た女性2人組は「参加は2回目。店を回るこけがなければ五所川原で飲む機会がないので楽しい」と笑顔。

から参加した女性2人組は「地元で飲む機会は多いが、行つたことのない店もあるので面白い。すてきな出会いがあれば、なおいい」と期待を寄せた。

た女性2人組は「参加は2回目。店を回るこけがなければ五所川原で飲む機会がないので楽しい」と笑顔。